

# 専門学校大原自動車工科大学校 令和4年度 学校関係者評価

実施日 令和5年9月1日

# 学校関係者評価表

## 自己点検・評価の概要

専門学校大原自動車工科大学校の令和4年度における自己点検・評価については、一般的に良好な結果であった。

学校運営は、意思決定システムが確立されており、円滑な運営が行われている。また、教育理念に基づいた運営方針が明確に定められており、教育理念を達成するための事業計画の策定、各種研修制度の確立を通じて有為な人材育成が行えている。

自動車北九州校就職実績は、就職率100%と継続して高い内定率を達成することが出来ている。昨年度、教育課程編成委員からの提言により、実学教育と人格育成教育を盛り込んだ教育ストーリーのブラッシュアップにより、多くの学生が第一希望の就職先に内定を頂き就職が出来ている。

資格取得では、昨年度実績から合格実績が低下した。

二級自動車整備士資格においては、留学生の受験者が多くなっている中、本校では高い合格率を維持することができている。一級小型自動車整備士については、昨年度の全員合格から半減したため、再度指導強化を図る必要がある。

留学生に関しては、コロナによる水際対策の影響で2年間入学者が来日できない状況が続いていたが、R4年度は103名の入学者を迎え入れることが出来ている。ただし、2年間留学生の入学が無かったため、今後は自動車整備進学者の留学生割合が減少するため、企業への人材供給について次年度以降は厳しい状況となる。

地域貢献は、コロナ感染の第5類移行で随時取り組みを開始しており、地域のイベントに留学生を参加させることが出来ている。

また、附帯教育授業としては、引き続き、幅広い年齢層に対し実社会に適応した教育サービスを提供することで、教育産業の責務・社会貢献を果たし、これらの実績に信頼を寄せて頂ける教育を提供したいと考えている。

なお、学校運営として、予算計画・執行は規定に従って適切に行なわれており、財務状況も安定している。

項目		現状・達成指標	具体的方策	学校関係者の評価・提言
1	3-11 資格取得指導体制について 4-14 資格取得率について	自動車学科 1. 国家試験合格率 2. 自動車メカニック検定 3. 日本語能力検定 日本語学科 1. 日本語能力検定	自動車メカニック検定を柱とした指導で国家資格合格を目指す。特に1、2年次の取り組みが重要で国家資格の基礎を徹底的に教育することで国家試験の合格率を維持する。	1・2年次の振り返りを具体的にを行い3年次に活かす事が必要。暗記にたよる学生が多い、仕組み等を理解し結びつける応用力が必要と思われる。目的意識(意識付け)を持って自立させる事で自ら取り組める様になるのではないかと。入学後に目的を失わないようにサポートを行う。

1	職員の知識力向上	自動車職員については、教務力向上が必要と思われる。合わせて学生指導の徹底も大きなカギを握っている。 教員の1級整備士取得を強化と合わせて指導力の向上に取り組む。	教員の指導力研修を継続する。個々の知識力と合わせて、講義力の向上に取り組むため、模擬授業を継続して実施する。	専門性の質、興味を引く内容、教えるより自分で考えさせる授業が効果があると思われる。 導入として興味を持たせる事から自ら学ぶ事に繋がる。
2	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	令和4年度は整備技能競技会を実施（R3は中止）。最終的な学習成果を確認することができた。 競技の実施方法を変更し学生個々のスキルアップに取り組む。	昨年度の実施内容を踏襲しつつ、競技会に向けた指導ではなく、日々の学習成果の積み上げが競技会に結びつくよう日々の教育成果を確認する。	チームで点検などを実施するため、コミュニケーションを活かして取り組むものなどを検討してはどうか。 色々な可能性などを考えてチームを組むことは良い、リーダーなども経験を積ませるためにくじでも良い。
3	日本語学校の運営	R4年度は103名の新入生(留学生)が入学（2年ぶり） 日本語教育と合わせて日本での生活指導、資格外活動（アルバイト）指導などを徹底。 大きなトラブルなく運営が出来ている。 日本語能力試験の取得に関しては大きな成果は出ていないが、受験指導は概ね良好である。	昨年度入学した留学生が日本の生活に慣れて、資格外活動の基準を超えたアルバイトをする留学生を発生させないように指導を徹底する。 生活指導面では大きなけがに至らない交通事故の発生に関して継続的な注意喚起を行う必要がある。	少子化の影響で、様々な業種で人手不足の話聞く。自動車整備業界やその他の業界においても人材不足を補うために外国人労働者の採用が促進していると聞く。引き続き優秀な人材を業界に送り出す取り組みを継続していただきたい。

## 学校評価全体に対する評価

自動車科の卒業生が確実に就職が出来ていることは評価できる。卒業後の仕事では資格の重要性が高いと思われるので、国家試験に関しては全ての卒業生が合格できるように取り組んでもらいたい。留学生の入国も再開する中、日本における生活習慣などの指導も徹底されているようでトラブルの発生を抑えていることは評価できる。

教員知識力向上に関しては、知識も重要だが興味を持って授業に取り組める工夫も必要であるため、授業の運営方法も工夫して教育効果が上がるように取り組んでいただきたい。

## 学校関係者委員会総括

学生の目標は就職であるが、資格取得も大きな課題として更に取り組む必要がある。

普段の授業において、学生が魅力的に感じる授業運営が成績の向上や成功体験に結びつくため、日々の授業において取り組み方を変化させながら、効果的な授業スタイルの構築に繋げる必要がある。その他には教材の魅力も向上させる必要があるため、授業で使用するプリントや映像資料などについて再度検討を行い、最終的に国家試験全員合格を達成するプログラムとしていく。

留学生の入学者もコロナ前に戻ってきているため、学生指導と合わせて日本で活躍できる人材へとして、留学生個々の能力や成績に合わせて進学、就職指導を行っていく。

校内・校外での活動も実施できるようになるためスピーチ大会や整備技能競技会においては観客を入れての実施を行い、対外的な活動も強化する。